

令和元年11月29日（金）
表層型メタンハイドレートの研究開発
2019年度 一般成果報告会

メタンハイドレート開発に関する 政府の取組

経済産業省
資源エネルギー庁
資源・燃料部 石油天然ガス課
山田 哲也

メタンハイドレートの開発に関する位置付け

- メタンハイドレートの研究開発は、第3期海洋基本計画（平成30年5月閣議決定）や第5次エネルギー基本計画（平成30年7月閣議決定）等において、政府の主要施策の一つとして位置付けられている。

第3期海洋基本計画における メタンハイドレートの開発に関する記述

- ◆ 民間企業が主導する商業化に向けたプロジェクトが平成30年代後半に開始されることを目指して、将来の商業生産を可能とするための技術開発を進める。
- ◆ 具体的な計画等については、従来どおり海洋基本計画に基づき策定された「**海洋エネルギー・鉱物資源開発計画**」を**改定**することにより、明らかにする。
→ **経済産業省は、本計画を平成31年2月15日に改定。**
- ◆ 砂層型メタンハイドレートについては、これまでの研究成果を適切に評価した上で、長期間の安定生産を実現するための生産技術の確立、経済性を担保するための資源量の把握、商業化を睨んだ複数坑井での生産システムの開発等について取り組む。
- ◆ 表層型メタンハイドレートについては、広く技術的な可能性に機会を与え、回収・生産技術の調査研究を引き続き行うとともに、有望な手法が見つかった場合には研究対象を絞り込み、商業化に向けた更なる技術開発を推進する。



表層型メタンハイドレートの開発に向けた工程表

海洋基本計画（平成30年5月15日閣議決定）

- 平成30年代後半に民間企業が主導する商業化に向けたプロジェクトが開始されることを目指し、将来の商業生産を可能とするための技術開発を進める。

